

令和8年2月2日全校朝会の話（副校長）

節分について

明後日の2月4日は「立春」といいます。冬が終わり、春が始まる日です。
では、明日2月3日は何の日でしょう。
そうです。「節分」です。

立春を新しい年の始まりと考えると、節分は大晦日のような日になります。
節分には、恵方巻きを食べたり、豆まきをしたりしますね。
豆まきでは、「福はうち、鬼はそと」と言いながら豆をまきます。

「福」とは、「幸福」や「幸せ」、「よいこと」のことです。
よいことや幸せが、自分や家族のところに來てほしい、そんな願いをこめて「福はうち」と言うのですね。

では、「鬼」とは何でしょうか。
「幸せ」の反対なので「不幸せ」、「よいこと」の反対なので「悪いこと」と考えることができます。
病気になったり、けがをしたりすることも、悪いことの一つですね。

でも、鬼はそれだけではありません。
実は、鬼はみなさんの心の中にもいます。

たとえば、なまけたい心、ずるをしたい心、悪いことだと分かっているけどやってしまう心です。
人はだれでも、少しはそうした心をもっています。

節分の豆まきは、そうした心の中の鬼を外に追い出し、すがすがしい気持ちで新しい一年を迎えたい、という願いがこめられています。
昔の人は、そんな思いを豆まきにあらわしたのですね。

今日は、節分の豆まきで外に出す「鬼」のお話をしました。
これでお話を終わります。